

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 6 日

事業所名 しあわせ駅浦添

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			
	2	職員の配置数は適切である	6	1	パート職員、他事業所職員と情報共有を行いながら、適切な支援を心がけている。	配置基準は満たしているが、現在、職員の男女比率に関して課題がある為、今後、対応および対策を考えていきたい。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	1	午前中や、曜日ごとに環境整備の日を整え、清潔かつ安全に過ごせるよう心掛けている。	事業所が広く、清掃が行き届かない場合もあるので、工夫を重ね、改善していきたい。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1	週に1~2回ミーティングを設け、業務改善を進めている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1	毎年集計結果をHPにて公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	1		今後導入を予定している。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		半年に1度、個別支援計画会議を開催している。必要に応じて、その都度会議を開き、ニーズや課題の分析を行っている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	標準化されたアセスメントツールを活用し、職員間で情報共有を行いながらその都度情報共有に努めている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		1か月ごとに活動プログラムを立案している。また、当日変更があってもスムーズに遂行できるように、その都度スケジュール確認を行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成している	7			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		支援開始前に、一日の流れや前日の申し送りを行っている。また、当日出勤の職員が共有できるように出勤時間に合わせて開催時間を調整している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	3	できる限り、職員で話し合って振り返りを行っている。	今後は、終礼を定着させ振り返り時間を確保できるよう心掛けていく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7				
関係機関や保護者	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	4		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	4		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
との連携関係機関や保護者との連携	25	4	3		現在、対象の児童は在籍していないが、必要に応じて行く。
	26	3	4		現在、対象の児童は在籍していないが、必要に応じて行く。
	27	4	3		研修を受ける機会があれば、積極的に参加していきたい。
	28	3	4		今後、積極的に交流の機会を設けていきたい。
	29	2	5		今後、積極的に交流の機会を設けていきたい。
	30	6	1		
保護者への説明責任等	31	5	2		必要に応じて家族支援を取り入れ(研修案内、書籍紹介等)、対応力向上を図ってきたい。
	32	7			
	33	7			
	34	7			
	35	4	3	夏祭りなどイベントなどで保護者交流の機会を設けている。	
	36	7			
	37	7			
	38	7			
	39	7			
	40	6	1	しあわせ駅まつり、ハロウィンパーティーなどイベントを行い、地域交流を図っている。	
非常時等の対応	41	7			
	42	6	1	年2回、避難訓練を行っている。	
	43	7			
	44	7			
	45	7			
	46	7			
	47	5	2		現在対象の児童は在籍していないが、今後利用する場合は適切に対応していきたい。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。